



男子フルーレ団体決勝 イタリア選手(右)を攻める千田
|| エクセル

左腕させえた千田

不本意だった個人の結果に千田が奮起し、メダル獲得への突破口を切り開いた。期待のサウスポーが初戦の準々決勝から、果敢に攻め、対戦相手を圧倒。エース太田とともに、団体への思い入れは人一倍強く、フェンシング界全

体の底上げを強く意識する。日本はロンドンに「金メダルを取るためにやってきた。表彰台の一番高いところを狙う」と乗り



男子フルーレ団体決勝 イタリア選手(右)を攻める淡路=エクセル

込んだ。個人では初戦の2回戦で敗退した。悔しい思いをぶつけて決勝進出を果たした千田。「次にすべきことに神経を集中して頑張りたい」と決勝の舞台に立った。

第8試合、日本は三宅に代わってリザーブに入っていた淡路が団体戦初出場。勢いよくポイントを決め、日本が一時は同点に追いつく健闘を見せた。

プロフィール

千田健太 (ちだ・けんた)
1985年8月2日、26歳、170センチ、69キロ、宮城・気仙沼高一中大出、ネクサス、宮城県出身、北京五輪代表。11年アジア選手権2位

淡路卓 (あわじ・すぐる)
1989年7月26日、23歳、175センチ、68キロ、宮城・東北工大高出、ネクサス、宮城県出身、08年世界ジュニア選手権優勝(ネクサスは本社・高崎市)